

私立大学図書館協会 2011年度第2回東西合同役員会議事要録

日 時 2012年3月9日(金) 14時00分～16時50分
場 所 東京ガーデンパレス 天空の間
出席者 名簿のとおり

議事に先だち、会長校挨拶の後、出席者の自己紹介を行った。
議事進行は、立教大学図書館長・石川巧が担当した。

I. 報告事項(2011年8月～2012年2月)

1. 協会会務報告

(1) 加盟校数について

会長校立教大学(阿久津)より、配付資料(p.5)にもとづき報告が行われた。

- 1) 2011年度加盟校数は、2011年9月1日総会承認により、東地区264校、西地区263校、合計527校である。
- 2) 2012年度加盟申込校は、東地区0校、西地区3校、合計3校である。
- 3) 2012年度脱退届出校は、東地区0校、西地区1校、合計1校である。
- 4) 2012年度加盟校数(予定)は、東地区264校、西地区265校、合計529校である。

(2) 未加盟校への勧誘について

会長校立教大学(阿久津)より、配付資料(p.8～9)にもとづき、本協会未加盟校に対して、会長校より資料を11月8日付で送付し、加盟についての案内を行ったとの報告があった。

(3) 加盟校への書類等への送付について

会長校立教大学(阿久津)より、配付資料(p.9～10)にもとづき、第1回東西合同役員会以降に全加盟校に送付した書類等について報告があった。郵送ではなく、メールでの配信が増えていることが報告された。

(4) 会報の刊行について

会長校立教大学(阿久津)より、配付資料(p.10)にもとづき、会報136号を2011年9月8日に刊行し、総会特集号の137号を、2012年3月中旬に刊行予定との報告があった。

(5) 「私立大学図書館協会史」のデジタル化およびホームページでの公開について

会長校立教大学(阿久津)より、2011年度事業計画にあげていた私立大学図書館協会史「東京私立大学図書館協議会より第十五回総会まで」(1956)をPDF化し、デジタルアーカイブとして私立大学図書館協会ホームページに2011年11月28日に掲載したとの報告があった。

2. 東地区部会会務報告

東地区部会長校明治学院大学(鈴木)より、配付資料(p.11～12)にもとづき、2011年8月から2012年2月までの東地区部会会務報告が行われた。

3. 西地区部会報告

西地区部会長校広島修道大学（社家）より、配付資料（p.13～24）にもとづき、2011年8月から2012年2月までの西地区部会会務報告が行われた。

4. 委員会報告

(1) 協会賞審査委員会報告

協会賞審査委員会委員長（関西学院大学・今村）から配付資料（p.25）にもとづき報告が行われた。

(2) 研究助成委員会報告

研究助成委員会委員長（専修大学・斎藤）から配付資料（p.25）にもとづき報告が行われた。

(3) 国際図書館協力委員会報告

国際図書館協力委員会委員長（慶應義塾大学・長島）から配付資料（p.25～28）にもとづき報告が行われた。

(4) 協会ホームページ委員会報告

協会ホームページ委員会委員長（関西大学・濱生）から配付資料（p.28～29）にもとづき報告が行われた。

5. 会長校から委員会への検討依頼

会長校立教大学（石川）より、配付資料（p.29）および参考資料（1-1、1-2、1-3）にもとづき、協会ホームページ委員会、研究助成委員会、国際図書館協力委員会の各委員長に対して、会長校名で各種案件について検討依頼の文書を提出したことが報告された。また、各委員会での検討を経て、具体案が提示されたものもあり、本日の委員会で協議事項として協議する旨の報告がなされた。

6. 寄贈資料搬送事業実施要領改訂について

会長校立教大学（阿久津）より、配付資料（p.29）および参考資料（2-1、2-2）にもとづき、国際図書館協力委員会で実施している寄贈資料搬送事業について、運用上の問題が生じているとの理由から、実施要領の一部改訂の申し出がなされたこと。また、規程ではなく、実施要領であることから、改定は常任幹事会での決定によるものとし、2011年12月2日の常任幹事会で会長校から提案し、承認されたとの報告がなされた。

7. 【国公私】JUSTICEの安定的・持続的な活動体制の確立に向けて

会長校立教大学（阿久津）より、配付資料（p.29）および参考資料（3-1、3-2）にもとづき、国公立大学図書館協力委員会委員長名で、国公私の各協会に対して、大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）・運営委員会から常任幹事館に対して報告があった資料について、文書で通知がなされたとの報告があった。この資料（安定的・持続的な活動体制の確立にむけて(案)）は、今後、国公立大学図書館協力委員会や連携・協力推進会議の中で議論されていくことになる。

2011年12月8日の国公立大学図書館協力委員会において、会長校館長（石川）より、私立大学図書館協会としての見解を表明したとの報告がなされた。

8. 日本図書館協会における「公益社団法人」移行に伴う変更について

会長校立教大学（阿久津）より、配付資料（p.30）にもとづき、以下の報告があった。日本図書館協会の公益社団法人移行申請に伴い、加盟団体の代表者の名称が「評議員」から「代議員（社員）」となり、大学図書館枠の定数も10名から7名となる。新たな代議員選出における大学図書館枠の国・公・私割り振りについて、大学図書館部会での審議の結果、国立3館、公立1館、私立3館と決定した。3名の代議員の選出に関しては、第3回常任幹事会で、私立大学図書館協会からは会長校、東西部会長校から選出することを決定した。

（※現在「公益社団法人」移行申請準備を行っている段階で、認定（移行）日は未定）

9. 協会関連事項報告

（1）国公立大学図書館協力委員会報告

会長校立教大学（阿久津）より、配付資料（p.30～31）および2011年12月8日に開催された国公立大学図書館協力委員会配付資料より抜粋した参考資料（7）にもとづき、本協会および加盟校に関連のある事項について報告が行われた。

（2）国立国会図書館長と大学図書館長との懇談会について

会長校立教大学（阿久津）より、配付資料（p.31）にもとづき報告が行われた。

（3）後援・共催事項

会長校立教大学（阿久津）より、配付資料（p.31）にもとづき報告が行われた。

11. 2012年度行事・会議予定

会長校立教大学（阿久津）より、配付資料（p.35）にもとづき報告が行われた。

II. 協議事項

1. 2011年度一般会計・特別会計支出状況ならびに決算見込について

会長校立教大学（阿久津）より、配付資料（p.37～39）にもとづき、2011年度一般会計・特別会計支出状況（2月20日現在）ならびに決算見込みについて説明と提案が行われた。

協議の結果、異議なく了承された。

（主な説明）

1) 一般会計

①【収入/会費】：会費の予算額は、昨年度加盟の520校を基礎数としている。「決算額」は、490校分である（年会費免除37校分を含まず、新規加盟校9校分を含む）

②【支出/運営費 3. 通信費】：東日本大震災関連で送付した文書が多かったため、その分が支出超過となっている。

2) 国際図書館協力特別会計

①【収入・支出/シンポジウム】：2011年度は実施せず。

②【支出/海外集合研修補助金】：参加者8名分となったこと。研修先が米国東部8大

学訪問、現地の事情によりバスをチャーターしたこと等の理由により支出超過となっている。

2. 協会ホームページの充実について

会長校立教大学（阿久津）より、配付資料（p. 40）にもとづき、標記についての具体案が提案説明された。引き続き協会ホームページ委員長（関西大・濱生）から補足説明がなされた。協議の結果、①協会ホームページのリニューアル、②講演会・講習会等の動画配信、③研究会等発表資料のホームページ掲載推進が、異議なく了承された。

3. 国際図書館協力委員会プログラム運営の効率化

会長校立教大学（阿久津）より、配付資料（p. 41）および参考資料（5-1、5-2）にもとづき、標記についての具体案が提案説明された。引き続き国際図書館協力委員会委員長（慶應義塾大学・長島）から補足説明がなされた。協議の結果、①「海外集合研修」企画運営の外部委託の導入、②「海外集合研修」参加費徴収の廃止、③「国際シンポジウム」企画・運営の外部委託導入、④「国際シンポジウム」企画を複数年度に一度の実施に変更が、異議なく了承された。

4. 「委員会活動費」の取り扱いの変更（案）

会長校立教大学（阿久津）より、配付資料（p. 42）にもとづき、標記についての具体案が提案説明された。協議の結果、①『運営費』『委員会活動費』として単年度決算、②2011年度繰越金は決算時に一般会計に戻し入れ、③委員会活動費は「仮払金」として委員長に交付して精算、④委員会活動費の用途が、異議なく了承された。

5. 私立大学図書館協会資料の保存と「会報」の発送（案）

会長校立教大学（阿久津）より、配付資料（p. 43）にもとづき、標記についての具体案が提案説明された。協議の結果、①「保存用資料」の削減と電子媒体の推進、②会報発送の簡易化が、異議なく了承された。

6. 2012年度事業計画（案）

会長校立教大学（石川、阿久津）より、配付資料（p. 44～45）にもとづき、提案があった。協議の結果、前文の一部を修正することを確認のうえ了承された。

7. 2012年度一般会計・特別会計予算（案）

会長校立教大学（阿久津）より、配付資料（p. 46～48）にもとづき、提案があった。協議の結果、異議なく了承され、従来どおり2012年度総会まで暫定予算として執行することになる。

なお、単年度で見ると大幅な支出増となるが、HPリニューアル等、新規事業への支出であること、また単年度に発生する支出であり恒常的なものでないこと、加えて他の支出も効率化の推進により支出抑制が可能であることから、長期的には問題がないとの補足説明がなされた。

（主な説明）

前年度繰越金は、2011年度決算額を入れるので、現在は決算見込みを参照した概算である。

1) 一般会計

- ①【収入/会費】：現在の加盟校数 527 校を基礎数として算出
- ②【支出/運営費 1. 事務費】：協会関係資料の整理・PDF 化費用分を 10 万円増額
- ③【支出/運営費 5. 委員会活動費】：事業費に計上されていた 3 委員会分の 75 万円を計上。(2011 年度事業費に計上されていた 75 万円分は計上せず)。
- ④【支出/事業費 6. 国際図書館協力事業費支援費】：海外認定研修補助費に計上されていた 50 万円、国際図書館協力委員会事業の補助のための増額分 100 万円、計 150 万円を増額
- ⑤【支出/事業費 9. 協会 HP リニューアル費】：2012 年度リニューアルのための Web サイト製作費として 300 万円を計上。
- ⑥【支出/事業費 10. 協会 HP 更新サポート費】：年間保守費用として 84 万円を計上。

2) 研究助成特別会計

- ①【支出/研究助成金】：2 件を採択予定として、1,053,565 円を計上した。

3) 国際図書館協力特別会計

- ①【収入・支出/国際図書館協力事業支援費】：一般会計から 100 万円を増額。また海外認定研修補助費 50 万円を繰入。計 150 万円の増額。
- ②【収入/事業収入 海外集合研修参加費】：2012 年度より徴収しないため 35 万円減。
- ③【支出/事業活動費 シンポジウム運営費】：2012 年度実施予定。一部業務委託を導入。2010 年度実施実績 150 万円を参考に 195 万円を計上。

4) 総会・研究大会特別会計

次年度総会当番校慶應義塾大学(石黒)より、配付資料(p.48)にもとづき、説明がなされた。

- ①【収入/総会・研究大会支援費】：意見交換会会場費分(学外施設)25 万円を増額。
- ②【収入/意見交換会費】：今年度は 4000 円であるが、6000 円とする。
- ③【支出/事務局経費】：カメラマン委託代金、テープ起こし代を計上。従来、一般会計の会報刊行費に計上されていたテープ起こし代は削除となっている。

8. 第 73 回(2012 年度)総会・研究大会について

次年度総会・研究大会当番校慶應義塾大学(石黒)より、配付資料(p.49~50)にもとづき、標記について提案があった。協議の結果、異議なく了承された。

なお、出席予定者を収容可能な懇親会会場を学内では確保できないため、品川のホテルで開催すること、参加者には各自移動してもらう予定であることとの説明があった。

9. 2011 年度協会賞について

協会賞審査委員会委員長(関西学院大学・今村)より、配付資料(p.51~52)にもとづき、提案があり、了承された(採択 2 件)。

また、次回 2012 年度協会賞受賞候補者の推薦依頼の際には、案内文書を見直し、わかりやすいものにするとの説明があった。

10. 2012 年度研究助成について

研究助成委員会委員長（専修大学・斎藤）より、配付資料（p. 53～55）にもとづき、標記について提案があり、了承された（採択 2 件）。

[懇談事項]

1. 次期役員校、総会当番校、委員会委員の選出について

会長校立教大学（阿久津）より、配付資料（p. 57～p. 58）および参考資料（6）にもとづき、標記について、東・西各地区の選出予定校、選出母体・ローテーション、および今後の予定について説明があり、種々懇談を行った。

2. 館長リレーメッセージについて

会長校立教大学（阿久津）より、2011 年度に開始された標記は、24 校の役員校館長に執筆をいただいたとの報告があった。

2012 年度は総会・研究大会当番校、東・西各地区の総会・研究大会当番校の館長に執筆いただき、2013 年度からあらためて館長によるリレーメッセージを継続することの提案があり、了承された。

以上、すべての議事を終了し、議長が閉会を宣した。

<配付資料>

私立大学図書館協会 2011 年度 第 2 回東西合同役員会 p. 1～p. 60

<参考資料>

資料 1-1	協会ホームページ委員会への会長校からの検討依頼文書	p. 61
資料 1-2	研究助成委員会への会長校からの検討依頼文書	p. 62
資料 1-3	国際図書館協力委員会への会長校からの検討依頼文書	p. 63
資料 2-1	寄贈資料搬送事業実施要領改訂について	p. 64～p. 65
資料 2-2	資料寄贈搬送事業実施要領 新旧対比	p. 66～p. 69
資料 3-1	国公立大学図書館協力委員会からの「JUSTICE『安定的・持続的な活動体制の確立に向けて（案）』についての協力依頼	p. 70
資料 3-2	「JUSTICE『安定的・持続的な活動体制の確立に向けて（案）』	p. 71
資料 4	協会ホームページ デザインイメージ	p. 72
資料 5-1	海外研修（集合・派遣・認定）実績	p. 73～p. 74
資料 5-2	国際シンポジウム実施一覧資料	p. 75
資料 6	次期役員校、総会当番校、委員会委員の選出関係資料	p. 76～p. 83

(別添)

資料 7 国公立大学図書館協力委員会関係資料